



2026年(令和8年)になりました！今年もよろしくお願ひいたします！
帰郷された方、お住まいの場所で年を越された方、様々かと思いますが、寒さは大敵。
暖かくしてお過ごしくださいね。



新規会員を増やしたい。でも、どうすればいいのかな？



★今年度も県人会の会長様、事務局ご担当者様にご協力をいただきました『連絡シート2025』。例年、いただく声として多いのが、「**新規入会者が増えず、困っている。**」「**若者の入会を増やしたい。でも、どうしていいのか分からぬ。**」というご意見。

そこで、昨年度に新規入会者が特に増えた県人会のご担当者様に、**新規入会者が増えた工夫、いきさつなどをお伺いしました。**



💡 直接の声かけ 💡

- 各地域ごとの集まりや総会があり、その参加者に、自分の県人会への参加を呼びかけている。
- 催事(秋田のお店の出店や、お祭り会場に県産品の出店をするときなど)があったときに、参加を呼びかけている。
- 同期の友人や、知人からの誘いで入会が多い。

☆秋田県からの出店や、各市町村の主催のイベントがあったときなど、**知人や来場者への直接の声が効果的なようです。**声かけはちょっと…という場合も、県人会への参加を呼びかけるチラシなども効果的かもしれません。
同窓会は、学校と連携して、卒業生に配ってもらうのもいいかもしれません。
転出・転入する方向けに、市役所や役場にチラシ配布をお願いするのもありかも？と思いました。



💡 ホームページからの入会 💡

- 県人会のホームページがあり、「興味があります」とメールをいただいた。
- ホームページからの入会希望がいくつかあった。
- 入会のきっかけを訪ねると、「インターネット(HPやSNS)で見つけた」という声も。

☆ふと気になって、故郷のことを調べたときに、**県人会のHPがヒットすることもあるようです。**

HP、SNS(フェイスブックやX、インスタ)など、若者の他にも、各年齢層に県人会を知ってもらい、入会のきっかけや、会員同士の交流の場にしてもらえるよう更新を心がけたい、とのお声がありました。



💡 母校の周年記念イベント 💡

- 母校が創立100周年にあたり、卒業生名簿を発刊。それを元に、卒業以来の急な連絡に戸惑わないよう、慎重に案内やアンケートを実施。
その結果、300名以上の方が県人会に参加してくれることに。新社会人も12名参加してくれ、グループラインにもあまり抵抗はない様子。
- 地域や母校と連携しながら“帰郷同窓会”を企画中。**地域活性を視野に入れ、10周年ごとに実施の予定。

☆帰省を兼ねて、“大人の修学旅行”的な感じで、飲食やショッピング等で地域に貢献するようなイメージだそうです。

★ご協力いただいた皆様も、やはり会員数の維持や、後継者への引継ぎは大きな課題であるとおっしゃっていました。役員の後継者がいないことに気づき、若い人に声をかけたところ、ふるさとのため、県人会のために快く引き受けてくれたとの声も。

すぐに取り入れる、というのは難しいかもしれません、少しずつ参考にしていただけると幸いです。ほかにも、こんな方法があるのでは？ということがあれば、教えてください。

ご協力いただきました皆様、お忙しい中ありがとうございました。心より感謝いたします 🌸

